



## 2024年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年9月14日

上場会社名 株式会社ノバック 上場取引所 東  
コード番号 5079 URL <https://www.novac-cnst.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 立花 充  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼総務部長 (氏名) 大谷 敏博 (TEL) 079-288-3601  
四半期報告書提出予定日 2023年9月14日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年4月期第1四半期の業績 (2023年5月1日~2023年7月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年4月期第1四半期	7,543	△8.8	80	△90.3	88	△89.3	64	△92.6
2023年4月期第1四半期	8,273	—	830	—	831	—	871	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年4月期第1四半期	12.51	—
2023年4月期第1四半期	169.24	—

(注) 当社は、2022年4月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2023年4月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載していません。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年4月期第1四半期	25,842	18,566	71.8
2023年4月期	28,202	18,809	66.7

(参考) 自己資本 2024年4月期第1四半期 18,566百万円 2023年4月期 18,809百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年4月期	—	60.00	—	60.00	120.00
2024年4月期	—	—	—	—	—
2024年4月期(予想)	—	80.00	—	80.00	160.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
2024年4月期配当金(予想)の内訳 普通配当 120円00銭 記念配当 40円00銭

## 3. 2024年4月期の業績予想 (2023年5月1日~2024年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	6.4	2,020	△22.5	1,850	△28.5	1,240	△39.6	240.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年4月期1Q	5,202,800株	2023年4月期	5,202,800株
② 期末自己株式数	2024年4月期1Q	52,211株	2023年4月期	52,211株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年4月期1Q	5,150,589株	2023年4月期1Q	5,150,630株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	7
3. その他	9
(1) 四半期受注の概況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類感染症への移行に伴い、個人消費やインバウンド需要の回復等により、経済活動は正常に戻つつ景気は緩やかな回復傾向が見られました。しかしながら、長期化するウクライナ情勢や円安等による原油・原材料価格等の高騰や世界的な金融引き締め等による景気の下振れリスクが懸念され、依然として先行きは予断を許さない状況が続いております。

建設業界におきましては、公共建設投資は引き続き防災・減災対策をはじめとする国土強靱化計画のインフラ対策等により堅調に推移し、また民間建設投資も企業の設備投資意欲の高まりにより持ち直しの動きが見られました。その一方で、建設資材価格の高騰や受注競争の激化、労務者不足等が顕在化しており、引き続き経営環境への影響を注視する必要があります。

このような状況の下、当第1四半期累計期間の受注高は6,621,506千円（前年同四半期比52.0%減）となりました。売上高は、7,543,197千円（前年同四半期比8.8%減）、営業利益は80,474千円（前年同四半期比90.3%減）、経常利益は88,747千円（前年同四半期比89.3%減）、当期純利益は64,413千円（前年同四半期比92.6%減）となりました。なお、営業利益率は前年同四半期が10.0%に対して当第1四半期累計期間は1.1%となり、9.0pt低下しました。

セグメントごとの経営成績を示すと、次のとおりであります。

#### (土木工事業)

受注高は、前事業年度以前の受注工事の設計変更による減額幅が当第1四半期累計期間中の受注額を上回ったことから13,376千円のマイナス（前年同四半期は6,345,481千円）、売上高は2,559,196千円（前年同四半期比38.5%減）、セグメント利益（営業利益）は215,567千円（前年同四半期比69.3%減）となりました。なお、営業利益率は前年同四半期が16.9%に対して当第1四半期累計期間は8.4%となり、8.5pt低下しました。

#### (建築工事業)

受注高は6,634,882千円（前年同四半期比11.0%減）、売上高は4,979,621千円（前年同四半期比21.1%増）、セグメント損失（営業損失）は135,523千円（前年同四半期は営業利益126,065千円）となりました。なお、営業利益率は前年同四半期が3.1%に対して当第1四半期累計期間は△2.7%となり、5.8pt低下しました。

#### (その他)

売上高は4,379千円（前年同四半期比52.1%増）、セグメント利益（営業利益）は430千円（前年同四半期比58.3%減）となりました。なお、営業利益率は前年同四半期が35.9%に対して当第1四半期累計期間は9.8%となり、26.1pt低下しました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期会計期間末の資産合計は、25,842,124千円と前事業年度末と比べ2,360,373千円（8.4%）の減少となりました。主な要因は、受取手形・完成工事未収入金等が5,864,887千円増加したものの、現金預金が8,154,525千円減少したことによるものです。

#### (負債)

当第1四半期会計期間末の負債合計は、7,275,270千円と前事業年度末と比べ2,117,850千円（22.5%）の減少となりました。主な要因は、電子記録債務が2,301,582千円増加したものの、未成工事受入金が952,113千円、支払手形・工事未払金が2,903,796千円減少したことによるものです。

#### (純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産合計は、18,566,854千円と前事業年度末と比べ242,522千円（1.3%）の減少となりました。主な要因は、当期純利益の計上64,413千円、剰余金の配当309,035千円などによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年4月期の業績予想につきまして、2023年6月14日に公表いたしました「2023年4月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」に記載のとおりであり、業績予想は修正しておりません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年4月30日)	当第1四半期会計期間 (2023年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	14,497,034	6,342,508
受取手形・完成工事未収入金等	9,974,068	15,838,955
未成工事支出金	292,961	170,149
材料貯蔵品	9,991	9,839
その他	418,477	471,158
流動資産合計	25,192,531	22,832,612
固定資産		
有形固定資産	2,436,312	2,433,911
無形固定資産	91,872	93,472
投資その他の資産	481,780	482,128
固定資産合計	3,009,965	3,009,511
資産合計	28,202,497	25,842,124
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金	5,867,229	2,963,432
電子記録債務	—	2,301,582
未払法人税等	481,327	54,256
未成工事受入金	2,141,658	1,189,545
完成工事補償引当金	38,458	21,352
工事損失引当金	79,188	49,402
賞与引当金	204,034	145,060
役員賞与引当金	35,700	9,562
その他	365,450	361,467
流動負債合計	9,213,048	7,095,662
固定負債		
退職給付引当金	19,326	19,470
その他	160,746	160,137
固定負債合計	180,072	179,607
負債合計	9,393,121	7,275,270
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,227,864	1,227,864
資本剰余金	762,864	762,864
利益剰余金	16,781,647	16,537,025
自己株式	△5,317	△5,317
株主資本合計	18,767,057	18,522,435
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	42,319	44,418
評価・換算差額等合計	42,319	44,418
純資産合計	18,809,376	18,566,854
負債純資産合計	28,202,497	25,842,124

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2022年5月1日 至2022年7月31日)	当第1四半期累計期間 (自2023年5月1日 至2023年7月31日)
<b>売上高</b>		
完成工事高	8,270,630	7,538,818
その他の事業売上高	2,879	4,379
売上高合計	8,273,510	7,543,197
<b>売上原価</b>		
完成工事原価	7,079,943	7,060,110
その他の事業売上原価	1,845	3,948
売上原価合計	7,081,789	7,064,059
<b>売上総利益</b>		
完成工事総利益	1,190,686	478,707
その他の事業総利益	1,033	430
売上総利益合計	1,191,720	479,138
販売費及び一般管理費	361,670	398,664
営業利益	830,050	80,474
<b>営業外収益</b>		
受取利息	1	1
受取配当金	753	860
受取損害賠償金	—	9,324
受取補償金	800	—
雑収入	433	150
営業外収益合計	1,988	10,336
<b>営業外費用</b>		
支払利息	100	63
コミットメントフィー	—	2,000
営業外費用合計	100	2,063
経常利益	831,938	88,747
<b>特別利益</b>		
保険解約返戻金	441,250	—
特別利益合計	441,250	—
税引前四半期純利益	1,273,188	88,747
法人税、住民税及び事業税	401,507	24,334
法人税等合計	401,507	24,334
四半期純利益	871,680	64,413

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

前第1四半期累計期間(自 2022年5月1日 至 2022年7月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	土木工事業	建築工事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,159,751	4,110,878	8,270,630	2,879	8,273,510
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,159,751	4,110,878	8,270,630	2,879	8,273,510
セグメント利益	702,951	126,065	829,016	1,033	830,050

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	829,016
「その他」の区分の利益	1,033
四半期損益計算書の営業利益	830,050

当第1四半期累計期間(自 2023年5月1日 至 2023年7月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	土木工事業	建築工事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,559,196	4,979,621	7,538,818	4,379	7,543,197
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,559,196	4,979,621	7,538,818	4,379	7,543,197
セグメント利益又は損失(△)	215,567	△135,523	80,043	430	80,474

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業であります。

## 2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	80,043
「その他」の区分の利益	430
四半期損益計算書の営業利益	80,474

## 3. その他

## (1) 四半期受注の概況

(単位：千円)

項目	前第1四半期累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年7月31日)		当第1四半期累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年7月31日)		比較増減	増減率	
	金額	構成比	金額	構成比			
受 注 高	土木工事業	6,345,481	46.0%	△13,376	－	△6,358,857	－
	建築工事業	7,451,904	54.0%	6,634,882	－	△817,021	△11.0%
	計	13,797,385	100.0%	6,621,506	100.0%	△7,175,878	△52.0%

(注) 当第1四半期累計期間の土木工事業の受注高は、前事業年度以前の受注工事の設計変更による減額幅が当第1四半期累計期間中の受注額を上回ったことから13,376千円のマイナスとなりました。